

『糖尿病透析予防支援の効果の検討(観察研究)』について

1. 意義と目的

現在、透析患者数は増加の一途をたどり、透析導入の原疾患は糖尿病性腎症が最多となっています。これらに係る医療費の増加が懸念されていることなどを背景とし、平成 24 年には透析への進行を抑制するための指導に際して糖尿病透析予防指導管理料が新設されました。当院においてもこの指導を実施していますが、これまで指導の効果を検証したことがありません。より良い医療を提供するために、糖尿病透析予防支援の効果を検討することを目的としています。

2. 対象患者

2012 年 4 月以降に糖尿病透析予防指導管理料を算定された 20 歳以上の方

3. 研究方法

後向き観察研究

対象患者さんの診療情報・データ(患者背景、体重、血圧、血液検査結果、糖尿病治療情報、合併症情報)を、医師、看護師、管理栄養士がカルテから転記します。また糖尿病治療満足度のアンケート調査を行います。

4. あなたのプライバシーを守ります

この研究で使用する臨床情報の中には、あなたのお名前やご連絡先などの情報は含まれません。そのため、集められた情報からあなた個人が特定されることはありません。この研究の結果は、学術雑誌や学会にて発表し、糖尿病治療の進歩に役立てていくこととなりますが、公表する際にはあなたのお名前や個人を特定できる情報が使用されることはありません。もし本研究に診療情報を提供したくない場合は、担当医師に申し出て下さい。研究への参加を拒否しても、今後の治療においてなんら不利益を受けることはありません。

5. 治験倫理審査委員会の承認を受けています

この研究は、「疫学研究に関する倫理指針」を遵守して行います。豊田厚生病院治験倫理審査委員会において、この研究に参加された方に不利益にならないことや医学の発展に役立つ情報が得られることが確認され、承認を受けています。

6. 当院における研究責任者と問い合わせ先

この研究への不参加の希望、お問い合わせ、苦情等がありましたらいつでも担当者(担当医師)にご相談下さい。

豊田厚生病院 内分泌・代謝内科 病棟部長 加藤 大也
〒470-0396 豊田市浄水町伊保原 500-1
TEL 0565-43-5000 (代表)

平成 26 年 7 月 1 日